

ストックマネジメントの手引き の改訂(平成29年度版)

～ 農業集落排水施設の長寿命化対策～

[手引きの主な改訂内容]

改訂した「農業集落排水施設のストックマネジメントの手引き」では、施設の老朽化やストックマネジメントの導入が進むなかで、

- ①リスク管理の概念
- ②重要度評価
- ③施設監視の考え方 等について明示するとともに、特に老朽化が著しい
- ④機械・電気設備の保全対策内容の充実 を図りました。

その他、機能診断調査要領等についても改訂を行いました。

■手引き(平成24年)

●農業集落排水施設
ストックマネジメントの手引き(案)

●農業集落排水施設
最適整備構想作成要領(案)

●農業集落排水施設
機能診断調査要領(案)

●農業集落排水施設
機能診断調査票様式(案)

■手引き(平成29年度改訂版)

ストマネ対策や集落排水状況を踏まえた改定 等

- ・ストマネ対策の基本事項等について再整理
- ・再編計画の検討について(作成要領から移動)

ストマネ対策を進めるための必要な情報の充実

- ・機械・電気設備の対策内容の充実
- ・具体的な長寿命化対策等を掲載 等

構想作成の実績からの改定

- ・記載事例の追加(特に、機械・電気設備)
- ・管路調査等の抽出・評価・反映の方法記載 等

診断調査の実績からの改定

- ・現場実態を踏まえた修正(現地踏査、健全度評価等)
- ・現地調査方法(管口カメラの利用等の追加) 等

診断調査の実績からの改定

- ・現地調査票様式に、補修・更新内容を記載する欄を追加 等

[手引き(平成29年度版)の入手方法]

JARUSのホームページから無料で入手(ダウンロード)することができますので、アクセス下さい。

JARUS スtockマネジメント

検索

<http://www.jarus.or.jp/villagedrain/strengthen/management.html>



ストックマネジメントの手引き（平成29年度改訂版） ～主な改訂内容～

①リスク管理の概念

施設の劣化や自然災害等により、施設性能が低下して施設が損壊・故障し、本来機能の停止のほか二次災害等の発生リスクが考えられる。ストックマネジメントの推進にあたり、リスクの評価を踏まえた管理水準の設定や機能保全対策への反映等とともに、リスクコミュニケーションについて考慮することが重要である。

ストックマネジメントの実務においてリスク管理を行っていく場合には、施設の損壊等の事象の発生確率を健全度指標、その結果による損失を重要度に置き換えることにより、それぞれの施設又は施設群が保有するリスクの大きさを包括的に表現し、比較することが可能となる。

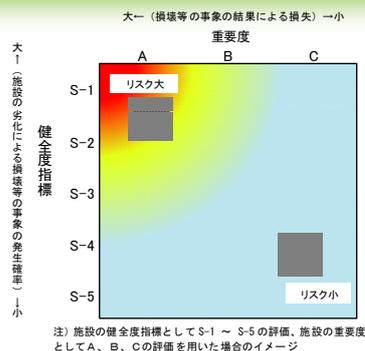


図 健全度指標・重要度とリスクの関係イメージ

②重要度評価

リスク管理の観点から、ストックマネジメントの各プロセスの取組を効率的に行うため、施設の重要度を評価する。重要度は、故障や事故等が発生した場合における汚水処理及びそれ以外に与える影響等を総合的に勘案して定める。

重要度評価の結果に応じて、調査頻度、管理水準、対策工法の選定等、地域の状況に応じたストックマネジメントが可能となる。

【汚水処理機能以外の高い重要度評価の例】

- ①施設（管路埋設部）周辺に主要道路や鉄道、人家等があり、人命・財産等への影響が大きいもの
- ②地域防災計画によって避難路に指定されている道路に隣接（管路が埋設）するなど、避難・救護活動への影響が大きいもの
- ③地域の経済活動や生活機能への影響が大きいもの

③施設監視の考え方

施設監視は、施設の劣化の進行状況を見極め、最適と判断される時点（適時）に適切な対策工事を実施できるようにすることなどを目的として行うものである。

施設監視に当たっては、地域の実情等に応じて、施設管理者が維持管理者と連携体制を構築するとともに、監視内容・項目等について適宜検討し、定めておくことが必要である。

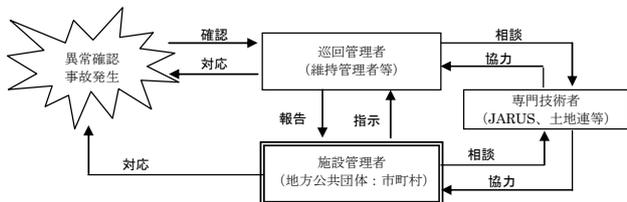


図 維持管理者との連携体制イメージ

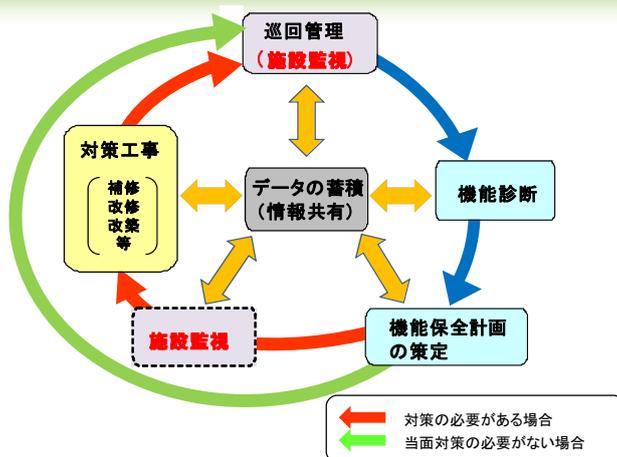


図 スtockマネジメントのサイクル

④機械・電気設備

機械・電気設備の保全方式の設定では、機器の重要度、使用条件、使用環境、稼働形態、機器の特性等を考慮することが重要である。

具体的には、施設機能の維持に影響度が大きい機器は、不具合の発生を回避する**予防保全**を適用する。一方、影響度の小さい機器は、**事後保全**を適用し、壊れるまで使いつい費用対効果を最大限に得ることを考慮する。

本改訂版では、機器ごとの重要度と適した保全方式（例）を示している。

表 機器毎の重要度と適した保全方式（例）

設備区分	設備名	耐用年数	機器の重要度	保全方式	備考
前処理設備	自動荒目スクリーン	15	B	PBM	
	沈砂排出ポンプ	30	C	PBM	
	ばっ気沈砂槽散気装置	15	C	PBM	
	破砕機	15	B	TBM+EBM(+CBM)	副水路あり
	細目スクリーン	35	C	PBM	
	原水ポンプ	15	B	TBM+EBM(+CBM)	予備機あり
スクリーン設備	流量調整ポンプ	15	B	TBM+EBM(+CBM)	予備機あり
	水中攪拌ポンプ	10	B	TBM+EBM(+CBM)	
	自動微細目スクリーン	15	B	TBM+EBM(+CBM)	予備機あり



図 保全方式区分

農業集落排水施設に関するお問い合わせは、JARUS若しくは都道府県水土里ネット(土地連)へお気軽に。



一般社団法人 地域環境資源センター

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34番4号
TEL.03-3432-6282/6284 FAX.03-3432-0743

http://www.jarus.or.jp mail:soudan@jarus.or.jp